

当院では、下記の臨床研究を実施しています。研究概要は以下のとおりです。

【研究課題名】

側頭骨疾患の診療に関する多施設共同研究

【目的】

側頭骨には、人間が生活していくうえで重要な聴覚を司る外耳・中耳・蝸牛、平衡覚を司る前庭、それらを支配する内耳神経（蝸牛神経、前庭神経）に加え、顔面神経（顔面筋の運動、味覚）、内頸動脈、内頸静脈といった重要な器官が集中しています。いずれの機能が失われても難聴、めまい、顔面神経麻痺など大きく生活の質が低下することから、側頭骨疾患の病態の解明や治療法の検討が重要であるといえます。多くの病院の症例を集積することにより病態の解明や新しい治療法の開発に役立てることを目的としています。

【対象】

2010年4月から2022年3月までに当院へ側頭骨疾患のために通院し、診療、手術、検査などを受けた方

【方法】

診療記録より当院研究担当医師が情報を収集し、調査票へ入力します。入力したデータは研究事務局（慶應義塾大学医学部 耳鼻咽喉科）へ郵送または手渡しにて提供され、保管・解析されます。この研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがあります。

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は、特定の個人を識別することができない状態で利用しますので、お名前などの情報が外部に漏れることはありません。

【利用する試料・情報】

診療記録（年齢、疾患名、合併症、喫煙歴、飲酒歴、血液検査結果、聴力検査結果、画像検査結果、病理検査結果、治療内容、QOL調査結果（診療で実施した場合）等）

【試料・情報の取得方法】

診療記録より収集

【研究期間】

倫理委員会の承認が得られてから2030年3月31日まで

【研究代表者】

慶應義塾大学医学部 耳鼻咽喉科学教室 大石 直樹

【共同研究機関】

済生会宇都宮病院、東京医療センター、国立成育医療センター、静岡赤十字病院、新百合ヶ丘総合病院、済生会中央病院、川崎市立川崎病院、横浜市立市民病院、立川病院、済生会横浜市東部病院、日野市立病院、けいゆう病院、平塚市民病院、栃木医療センター、佐野厚生総合病院、足利赤十字病院、稲城市立病院、杏林大学病院、北里大学北里研究所病院、東海大学病院

【当院の研究責任者】

耳鼻咽喉科 長谷部 夏希

【試料・情報の管理責任者】

横浜市立市民病院 病院長 小松 弘一

【連絡先】

横浜市立市民病院 〒221-0855 横浜市神奈川区三ツ沢西町1番1号
電話 045-316-4580（病院代表） 耳鼻咽喉科 長谷部 夏希

この研究の対象となる方またはその代理の方で本研究への参加を希望されない方は、上記の連絡先へお申し出ください。その場合でも、対象となる方に不利益が生じることはありません。

また、この研究の対象となる方またはその代理の方は、本研究の詳細（研究計画書及び研究方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手・閲覧することができますので、ご希望の方はお申し出ください。

2023.1.13 ver2.1